

# みなべ・田辺の梅システム

## 【GIAHSプロジェクト アクションプラン】概要

### みなべ・田辺の梅システムの重要性

#### 1. 梅の多様な遺伝子資源と優良品種の育成

- 約400年に及ぶ梅栽培の歴史
- 研究機関による保全と活用

#### 2. 薪炭林と梅林による傾斜地の利用

- 急峻な地形と礫質で崩れやすい地質の里山
- 梅林の上部や周辺に残された薪炭林(里山)
- 里山の谷部には、ため池を設置
- 生物多様性

#### 3. 優れた伝統技術

- 梅生産における伝統技術
- 梅の加工技術
- 持続的な薪炭林管理技術

#### 4. 独特の里山景観

- 季節により変化する梅林と薪炭林の景観

### システムを維持する上での課題

1. 農家数の減少と高齢化の進行
2. 梅の消費量の減少
3. 失われつつある薪炭林の管理技術
4. 梅の加工から出る梅酢、梅調味液の増加

これまで人々の営みの中で維持されてきた持続性の高い土地・水利用、生物多様性、優れた景観、地域の絆や文化を含めた梅システムの継承を困難にしている。

### 梅システムの保全と活用に向けて

### GIAHSプロジェクト アクションプラン

#### I 梅・炭の生産振興と販路拡大

1. 梅生産性の向上と人材育成
  - ・高い生産性の保持及び安定した生産量を確保
  - ・生産者の知識向上と新たな担い手の確保
2. 梅の付加価値の創出
  - ・新しいマーケットの開拓及び販路拡大
  - ・加工工程における環境への負荷を低減
3. 炭の持続的な生産と人材育成
  - ・持続可能な薪炭林の管理保全による原木確保
  - ・高品質な備長炭の生産拡大と販路拡大
  - ・後継者の発掘・育成

#### II 生物多様性・地域景観の保全

1. 梅畑を取りまく地域の生物多様性の維持保全
  - ・里山環境の価値の認識と認知度向上
  - ・梅栽培における環境保全技術を推進し、生物多様性を維持
2. 耕作放棄地解消に向けた取り組みと地域景観の保全
  - ・農地の流動化を推進し、耕作放棄地を解消
  - ・鳥獣害対策への取組を進めるとともに、ジビエ肉の利活用を推進
  - ・環境づくり活動や景観に配慮した構造物、工法による里山景観の保全

#### III 伝統技法、伝統文化の伝承

1. 伝統技法の伝承
  - ・各種技術講習会を開催し、技術向上と伝統技法を伝承
  - ・後継者を地域内外から募り、技術指導
  - ・都市部への情報発信や体験学習会等を開催し、後継者の確保・育成
2. 文化後継者の育成
  - ・梅・炭焼文化、それに通じる食文化や地域の伝統ある祭を継承
  - ・「梅の日(6月6日)」の定着
  - ・ワーキングホリデーや体験型観光の受入促進
  - ・学校給食に梅料理を導入・普及するとともに、梅に関する食育を推進
  - ・地元高校や大学等による梅料理・スイーツ等のレシピ開発

#### IV 国内及び国際的な相互作用

1. 都市農村交流による地域産業の情報発信
  - ・梅体験・炭体験や農家民泊による都市住民との交流推進
  - ・観光施設などのインフラ整備を促進
  - ・国内外に梅や炭の地域産業、各種体験等を情報発信
2. 地域産業を通じた国内・国際貢献
  - ・非常食として有用な梅干の備蓄を各種団体にPR
  - ・大規模災害の被災地に梅干を提供、復興を支援
  - ・海外からの研修生を受入、農林業振興に携わる人材の育成

評価と検証

### アクションプランの実施と進行管理

みなべ・田辺地域  
世界農業遺産推進協議会

#### アクションプランの実施

- ・協議会が中心となって、関係団体とも連携・協力しながら保全と活用の取り組みを進める。

#### アクションプランの進捗状況の評価

- ・評価は年1回
- ・I～IVのセクション毎に設定した評価指標の各目標値に対する達成度を測定
- ・評価結果は公表

#### GIAHSに対する地域住民の意識調査

- ・地域住民のGIAHSに対する意識を調査し、その後の保全と活用の取組に反映